



TITLE:

# トルコの初等・中等教育の歴史と現状

AUTHOR(S):

宮崎, 元裕

---

CITATION:

宮崎, 元裕. トルコの初等・中等教育の歴史と現状. 京都大学大学院教育学研究科紀要 2002, 48: 95-107

ISSUE DATE:

2002-03-31

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/57462>

RIGHT:

# トルコの初等・中等教育の歴史と現状

宮 崎 元 裕

Historical Background and Present Condition  
of Primary and Secondary Education in Turkey

MIYAZAKI Motohiro

## は じ め に

トルコは西洋と東洋の狭間に位置し、両文明の影響を強く受けながら発展してきた国家であり、教育と文化の問題を考える際の研究対象として魅力的な国家である。それにもかかわらず、トルコの教育制度についての先行研究は極めて少ない。日本では、文部省編『諸外国の学校教育（アジア・オセアニア・アフリカ編）』（1996年）のトルコについての記述や、文部省大臣官房調査統計課『トルコの教育』（1978年）などの報告で得られる情報しかない。また、総合的な研究がなされていなかったため、トルコの教育に関する情報は断片的で、教育に関するトルコ語の用語も不統一なのが現状である。一方、英語圏では、Güzver Yıldıran and John Durnin (eds.), *Recent Perspectives on Turkish Education: An Inside View*. Bloomington, Indiana University Turkish Studies Publications, 1997を筆頭に、いくつかの研究がなされているが、十分とは言えない。

このような現状を考えると、トルコの教育を総合的に概観する必要がある。そこで、本稿では、トルコの初等・中等教育の歴史と現状を概観する。歴史を重視したのは、現状を把握するためには歴史的な変遷を踏まえておく必要があるにもかかわらず、一覧性の高い形で歴史を記述した研究が少ないからである。なお、高等教育については別稿に譲ることにし、今回はふれない。就学前教育については簡単に扱う。さらに、宗教教育については別個に扱ったが、これは、トルコの公教育においては宗教教育の変遷が大きなポイントとなっているためである。

## 1. 就学前教育

### (1) 歴 史

1923年のトルコ共和国建国時には、就学前教育機関として幼稚園があり、その機関数は80、在籍者は5880人だった。しかし、この後、トルコの就学前教育の発展は順調ではなかった。

1928年の「文字革命」（アラビア文字を廃止しラテン文字を採用）をきっかけに、識字率の向

上が最優先課題と認識された結果、就学前教育の施設は、初等教育のために使用されることになった。1930年には、公立の就学前教育機関を今後新設しないことが決定され、このとき、従来の就学前教育機関は地方の援助によって以後8年間は存続することが許されたが、その後あらゆる公立の就学前教育機関は閉鎖された。

こうして、1930年以降、公立の就学前教育機関が存在しない状態が続いたが、1961年になってようやく、初等教育を補完するものとして就学前教育が法律（一般教育および初等教育法）で規定され、就学前教育が公教育システムに組み込まれた。これ以降、就学前教育機関は増加する<sup>1)</sup>。

## (2) 現 状

就学前教育は、主に、教育省の管轄下の幼稚園（anaokulu）と小学校付属の就学前学級（ana sınıfı）でなされている。2000/01年度の幼稚園・就学前学級の機関数・在籍者数・教師数は、下表の通りである。

表1 就学前教育機関の機関数・在籍者数・教師数（2000/01年度）

	学 校 ・ 学 級 数	生 徒 数			教 師 数
		計	男 子	女 子	
幼 稚 園	563	33,066	17,479	15,587	2,101
公 立	301	26,365	14,005	12,360	1,398
私 立	262	6,701	3,474	3,227	703
就学前学級	8,433	195,437	102,949	92,488	10,164
公 立	7,996	185,907	97,901	88,006	9,503
私 立	437	9,530	5,048	4,482	661
計	8,996	228,503	120,428	108,075	12,265

トルコ教育省のデータ（<http://www.meb.gov.tr/stats/ist2001/Bolum5s2.htm>）より作成。

この表からわかるように、トルコでは、幼稚園は少なく、就学前学級が中心となっている。そして、就学前学級では公立が大半を占めている。就学率は、1999/2000年度で9.8%である<sup>2)</sup>。

なお、ここで挙げた教育省管轄の幼稚園と就学前学級の他に、社会福祉機関（Institute of Social Welfare and Child Service）管轄の託児所・保育所がある<sup>3)</sup>。

## 2. 初 等 教 育

共和国建国以来1997年まで小学校（ilkokul）の5年間が初等教育とされ、中学校（ortaokul）と高校（ortaöğretim okulまたはlise）が中等教育機関とされていた。しかし、1997/98年度以降、小学校と中学校は「初等教育学校」（ilköğretim okul）として統合され、トルコの初等教育は8年間となった。この改革を踏まえて、1997年以前は中等教育に分類されていた中学校についてもここで扱う。

## (1) 歴 史

### a. 小 学 校

1924年3月の統一教育法 (Tevhid-i Tedrisat Kanunu) によって、従来の宗教学校メドレセは廃止され、教育制度は教育省の管轄下で世俗教育に統一された。その直後の1924年4月の憲法で、初等教育の義務・無償の原則が明記された。1927年には、原則的にすべての教育段階で男女共学となることが確認された。

農村での初等教育の普及は遅れ、1930年代には小学校のない農村が大半を占め、小学校のある農村でもその期間は3年という場合が多かった。このような状況のなか、1939年に、すべての農村の小学校を5年制とすることが決定された<sup>4</sup>。

1927年に23%だった小学校の就学率は、1940年に35%、1950年に55%、1960年に67%、1972年に90%となった<sup>5</sup>。小学校の就学率が90%を越えた直後の1973年から、初等教育の8年制への移行が模索され始め、1981/82年度から8年制初等教育の実験が一部で開始された<sup>6</sup>。そして、1997/98年度以降、小学校と（従来中等教育に分類されていた）中学校が「初等教育学校」として統合され、全国的に8年制の初等義務教育へと移行している。

### b. 中 学 校

1997年まで中等教育に分類されていた中学校は、制度上、普通中学校 (genel ortaokul) と職業中学校 (mesleki ve teknik ortaokul) の2つに大きく分かれていた。職業学校は、当初3年間だったが、1930年代の末に5年間になり、その後6年間となった。そして、この6年間は、3年間の中学校と3年間の高校に分かれることになった（ただし、4年間の高校もある）。こうして中学校段階に大きく2つの区分ができた<sup>7</sup>。

しかし、1957年以降、①小学校を終えたばかりの子どもにとって職業教育が過酷である、②小学校を終えた年齢では自分に適した職業を選べない、③小学校まででは職業教育に必要な知識を十分に学べない、④職業教育にはコストがかかる、⑤一般教育を犠牲にしてまで中学校段階で職業教育をおこなう必要はない、などの理由で職業中学校の規模を縮小されることになった<sup>8</sup>。実際、1994/95年度の統計では、生徒数が30万人を越えているイマーム・ハティップ養成校（後述）以外の職業中学校の生徒数は、約5万人と非常に少ない（普通中学校の生徒数は231万人）<sup>9</sup>。

そして、1997年の8年制初等義務教育への移行に伴い、職業中学校は完全に廃止され、初等教育学校に統一されることになった<sup>10</sup>。

## (2) 現 状

初等教育の就学率は、1999/2000年度で97.6%である<sup>11</sup>。なお、1994/95年度の小学校の就学率は90.7%、中学校の就学率は65.8%だった<sup>12</sup>。

初等教育が8年間となる前（1994/95年度）の小学校・中学校の学校数・生徒数・教師数は、表2の通りである。初等教育が8年間となった後（2000/01年度）の初等教育の学校数・生徒数・教師数は、表3の通りである。

表2 小学校・中学校の学校数・生徒数・教師数（1994/95年度）

	学 校 数	生 徒 数			教 師 数
		計	男 子	女 子	
小 学 校	48,429	6,466,648	3,401,163	3,065,485	233,073
公 立	48,196	6,418,095	3,374,110	3,043,985	230,152
私 立	233	48,553	27,053	21,500	2,921
中 学 校	8,897	2,674,986	1,623,762	1,051,224	—
普通中学校	7,993	2,318,915	1,426,255	892,660	—
公 立	7,745	2,254,951	1,390,376	864,575	64,456
私 立	248	63,964	35,879	28,085	—
職業中学校	904	356,071	197,507	158,564	—
公 立	903	355,908	197,507	158,401	—
私 立	1	163	0	163	—

State Institute of Statistics Prime Ministry Republic of Turkey, *Statistical Yearbook of Turkey*. Ankara, State Institute of Statistics, 1996, pp.176-178より作成。

表3 初等教育の学校数・生徒数・教師数（2000/01年度）

	学 校 数	生 徒 数			教 師 数
		計	男 子	女 子	
公 立 学 校	35,329	10,102,965	5,417,126	4,685,839	330,811
私 立 学 校	718	186,268	102,878	83,390	14,190
計	36,047	10,289,233	5,520,004	4,769,229	345,001

トルコ教育省のデータ（<http://www.meb.gov.tr/stats/ist2001/Bolum5s3.htm>）より作成。

この表からわかるように、公立学校に比べて私立学校は極端に少なく、2000/01年度では、学校数は公立35,329校に対して私立718校と、私立学校は全学校数の約2.0%を占めるにすぎない（ただし、日本でも小学校・中学校段階の私立学校の割合は約2.4%と同程度である）<sup>13</sup>。

また、1994/95年度に比べると、2000/01年度には学校数が減少している。1994/95年度には小学校・中学校の学校数は57,326校（小学校48,429校、中学校8,897校）だったが、200/01年度には学校数は35,329校にまで減少している。このことから、初等教育の8年制への移行に伴い、初等教育機関の整備統合が進んだことが窺える。

前述したとおり、初等教育8年制移行以前に存在していた職業中学校の規模は、普通中学校に比べると小さい。しかも、1994/95年度の職業中学校の生徒数356,071人のうち、イマーム・ハティップ養成校の生徒数は301,862人を占めている<sup>14</sup>。つまり、イマーム・ハティップ養成校を除いた職業中学校は、非常に小さな規模で存続していたことになる。

初等教育が8年間となる以前（1992年）の小学校及び中学校のカリキュラムは、表4の通りである。初等教育が8年間となった後（2001年）の初等教育学校のカリキュラムは、表5の通りである。

表4 小学校・普通中学校の教科と週当たり授業時数（1992年）

教科／学年	小学校					普通中学校		
	1	2	3	4	5	6	7	8
トルコ語	10	10	10	6	6	6	6	6
数学	5	5	5	4	4	4	4	4
生活知識	5	5	5	—	—	—	—	—
理科	—	—	—	4	4	4	4	4
社会	—	—	—	3	3	—	—	—
歴史	—	—	—	—	—	2	2	—
地理	—	—	—	—	—	2	2	—
公民	—	—	—	—	—	—	—	2
共和国史とケマリズム	—	—	—	—	—	—	—	2
外国語	—	—	—	—	—	3	3	3
宗教文化と道徳知識	—	—	—	2	2	2	2	2
美術	1	1	1	2	2	1	1	1
音楽	1	1	1	1	1	1	1	1
体育	3	3	3	3	3	2	2	2
選択科目	—	—	—	—	—	4	4	4
計	25	25	25	25	25	31	31	31

長島啓記「トルコ」文部省編『諸外国の学校教育（アジア・オセアニア・アフリカ編）』大蔵省印刷局，1996年，151頁をもとに表5と訳語を統一した。

表5 初等教育学校の教科と週当たり授業時数（2001年）

教科／学年	1	2	3	4	5	6	7	8
トルコ語	12	12	12	6	6	5	5	5
数学	4	4	4	4	4	4	4	4
生活知識	5	5	5	—	—	—	—	—
理科	—	—	—	3	3	3	3	3
社会	—	—	—	3	3	3	3	—
公民	—	—	—	—	—	—	1	1
共和国史とケマリズム	—	—	—	—	—	—	—	2
外国語	—	—	—	2	2	4	4	4
宗教文化と道徳知識	—	—	—	2	2	2	2	2
美術	2	2	2	1	1	1	1	1
音楽	2	2	2	1	1	1	1	1
体育	2	2	2	2	2	1	1	1
職業教育	—	—	—	3	3	3	3	3
交通と救急	—	—	—	—	—	1	—	1
個人と集団の活動	3	3	3	—	—	—	—	—
選択科目	—	—	—	3	3	2	2	2
計	30	30	30	30	30	30	30	30

トルコ教育省のデータ（<http://www.meb.gov.tr/stats/ist2001/Bolum4s1.htm>）より作成。

この表から、以前も現在も一貫して、トルコ語の授業が特に第1学年から第3学年で重視され

ていることがわかる。トルコ語を重視しトルコ語によって国民統合を図ろうとする共和国建国直後から続く傾向が窺える<sup>15</sup>。また、現行のカリキュラムでは、従来よりも外国語の授業時間が増加し、外国語は第4学年から教えられている<sup>16</sup>。

現行のカリキュラムでは、第4学年から第8学年まで職業教育 (İş Eğitimi) が毎週3時間行われている。これは、1992年のカリキュラムには存在しなかった教科で、初等教育8年制への移行に伴う職業中学校の廃止に伴う配慮だと考えられる。

第8学年で「共和国史とケマリズム」(T.C. İnkılap Tarihi ve Atatürkçülük) が教えられているが、これは、トルコの教育において建国の父ケマル・アタチュルクの理念が重視されていることを具体的に示している<sup>17</sup>。この「共和国史とケマリズム」は、高校ではさらに時間を増やして教えられている。また、「宗教文化と道徳知識」(Din Kültürü ve Ahlak Bilgisi) という宗教教育がおこなわれているのも注目すべき点である。この宗教教育については、後述する。

### 3. 中 等 教 育

現在、トルコで中等教育に該当するのは、3年制または4年制の高校である。前述したように、1997年以前には中学校も中等教育に分類されていたが、1997/98年度以降、中等教育は高校のみになった。中等教育の就学率は、1999/2000年度で59.4%である<sup>18</sup>。

高校は、普通高校 (genel ortaöğretim okul) と職業高校 (mesleki ve teknik ortaöğretim okul) の大きく2つに分かれている。高校の学校数・生徒数・教師数は、表6の通りである。

表6 高校の学校数・生徒数・教師数 (2000/01年度)

	学 校 数	生 徒 数			教 師 数
		計	男 子	女 子	
普 通 高 校	2,746	1,324,083	727,315	596,768	71,344
公 立	2,289	1,267,480	696,107	571,373	62,875
私 立	457	56,603	31,208	25,395	8,469
職 業 高 校	3,221	804,874	513,264	291,610	63,471
公 立	3,196	803,419	512,279	291,140	63,341
私 立	25	1,455	985	470	130
計	5,967	2,128,957	1,240,579	888,378	134,815

トルコ教育省のデータ (<http://www.meb.gov.tr/stats/ist2001/Bolum5s4.htm>) より作成。

表6からわかるように、普通高校の生徒数約132万人に対して、職業高校の生徒数は約80万人で、職業高校の生徒数は、高校の全生徒数の約38%を占めている。また、職業高校では公立高校の学校数3196校に対して私立高校は25校と極めて少数だが、普通高校では私立高校の学校数は457校で全普通高校の学校数の約17%を占めている<sup>19</sup>。

普通高校に分類される各学校の学校数・生徒数・教師数は、表7の通りである。

表7 普通高校の学校種別ごとの学校数・生徒数・教師数（2000/01年度）

	学 校 数	生 徒 数			教 師 数
		計	男 子	女 子	
普 通 高 校	1,555	987,457	543,131	444,326	46,025
多 種 プ ロ グ ラ ム 高 校	142	30,042	18,752	11,290	2,206
ア ナ ト リ ア 高 校	415	202,872	109,691	93,181	11,352
科 学 高 校	48	9,992	6,688	3,304	724
ア ナ ト リ ア 芸 術 高 校	38	4,159	1,289	2,870	444
ア ナ ト リ ア 教 員 養 成 高 校	91	32,958	16,556	16,402	2,124
私 立 高 校	457	56,603	31,208	25,395	8,469
計	2,746	1,324,083	727,315	596,766	71,344

トルコ教育省のデータ（<http://www.meb.gov.tr/stats/ist2001/Bolum5s4.htm>）より作成。

表7で挙げられている各学校が普通学校に分類される学校だが、この中でもアナトリア高校と科学高校は大学進学率が高いため、この学校へ入学を希望する者は多い。これらの学校は公立学校だが、私立学校ほど高価ではないものの授業料が必要である（この他の公立学校では授業料は無償）。科学高校では、数学と基礎科学を重視した教育がなされている。アナトリア高校では、基礎科学と外国語を重視した教育がなされている<sup>20</sup>。

さらに、私立高校でも、外国語を重視しながら高等教育に備えたレベルの高い教育がおこなわれている。しかし、高等教育に備えるという意味では、私立高校は、普通高校よりも質が高いが、アナトリア高校と科学高校には及ばない、という状況である<sup>21</sup>。

職業高校に分類される各学校の学校数・生徒数・教師数は、表8の通りである。

表8 職業高校の学校種別ごとの学校数・生徒数・教師数（2000/01年度）

	学 校 数	生 徒 数			教 師 数
		計	男 子	女 子	
男子技術高校	1,223	354,275	316,690	37,585	27,168
女子技術高校	656	104,151	15,043	89,108	11,887
商業観光高校	705	252,390	132,973	119,417	12,330
宗 教 高 校	600	91,620	46,906	44,714	11,877
特 殊 高 校	10	866	627	239	72
私 立 高 校	25	1,455	985	470	130
保 健 高 校	2	117	40	77	7
計	3,221	804,874	513,264	291,610	63,471

トルコ教育省のデータ（<http://www.meb.gov.tr/stats/ist2001/Bolum5s5.htm>）より作成。

これら職業高校の中で最も人気が高いのは、4年制の技術高校である。技術高校では職業準備教育に加えて、高等教育への準備教育もおこなわれている<sup>22</sup>。なお、表8の宗教高校とは、後述するイマーム・ハティップ養成校を指す。

高校のカリキュラムは学校種別により多様だが、普通高校のカリキュラムをもとに各学校独自の教科を加えるという形で授業が進められている<sup>23</sup>。少し古いが、表9が普通高校のカリキュラムである。



表9 普通高校の教科と週当たり授業時数(1981/82年度)

教科 / 学年	共通	文 系		理 系	
	1	2	3	2	3
トルコ語と文学	5	5	6	3	3
心理学	-	2	-	2	-
哲学・論理学・社会学	-	-	6	-	-
社会学・論理学	-	-	-	-	3
歴史	2	2	2	2	2
芸術史	-	1	1	-	-
地理学	2	2	2	2	1
数学	5	4	2	5	7
生物学	2	2	-	2	-
物理学	3	2	2	3	4
化学	3	2	1	3	3
外国語	4	4	5	4	4
体育	2	1	1	1	1
国防	-	1	1	1	1
観光と芸術	-	-	1	-	1
共和国史とケマリズム	1	1	2	1	2
健康知識	1	1	1	1	1
宗教文化と道徳知識	1	1	1	1	1
選択教科	2	2	2	2	2
計	33	33	36	33	36
カウンセリング・教育的作業	3	3	3	3	3

Yahya Akyüz, *Türk Eğitim Tarihi*. İstanbul, ALFA, 1999(7. Baskı), p.308より作成。

表9の通り、普通高校では第1学年は文系・理系の区別なく共通の授業がおこなわれているが、第2学年から文系と理系では教科・授業時数ともに異なっている。なお、現在では、理系は第3学年でさらに数学コースと科学コースに分かれる<sup>2)</sup>。

普通高校・職業高校ともに、留年率が高いことが大きな問題となっている。1985/86年度のデータでは、高校を正規の年数(3年間または4年間)で終える生徒は、全体の50%程度だった<sup>3)</sup>。

#### 4. 宗教教育

トルコ共和国は憲法で世俗主義の原則を明記している国家で、この意味では日本やアメリカ、フランスと同様である。それにもかかわらず、現在、トルコでは公立学校で必修教科として宗教教育がおこなわれている。この宗教教育を巡っては様々な政策の変遷があり、トルコの公教育において宗教教育は非常に大きな問題である。そこで、トルコの初等教育・中等教育における宗教教育を扱うことにする。

##### (1) 必修教科としての宗教教育—宗教文化と道徳知識

宗教教育は、1924年には小学校で週2時間(第1学年を除く)おこなわれていたが、1926年に

は授業時間が週1時間に減られ、第3学年以降のみ対象となった。そして、1930年には、父兄が望むならばという条件で第5学年のみで週に半時間おこなわれる授業となった。そして、1932年頃には小学校では宗教教育はおこなわれなくなった。ただし、農村の小学校では1938年から1940年頃まではおこなわれていたようである。なお、小学校のみならず、1924年から1930年までは中学校でも宗教教育がなされていた（高校ではなされていなかった）<sup>26</sup>。

このような経緯で、公立学校では宗教教育がおこなわれなくなったのだが、共和国建国以来、世俗主義を重視した政策が展開されたことを考えると、公立学校における宗教教育が廃止されたのは不自然なことではない<sup>27</sup>。これは、トルコがモデルとしたフランスでも、公立学校においては宗教教育がなされていないことを見てもわかる。

しかし、1949年に宗教教育は、小学校の第4・第5学年に、課程外の選択教科として週2時間導入された。1949年には宗教教育を「受講する」ためには父兄がその希望を学校に伝えねばならないとなっていたが、1950年には宗教教育を「受講させない」ためには父兄はその希望を学校に伝えねばならないことになった。1950年以降、宗教教育を望まないという表明のない児童に対しては、宗教教育の授業に加えて試験が課されることになり、宗教教育が課程内の教科となった。宗教教育は、1956/57年度には中学校に、1967/68年度には高校にも導入された。

1974/75年度には、従来の宗教教育とは別に、道德教育が小学校の第4・第5学年と中学校・高校の全学年で必修教科として導入された。そして、1982/83年度には、この宗教教育と道德教育が「宗教文化と道德知識」という授業名で統合され、小学校第4・第5学年と中学校・高校の全学年で必修教科となった（小学校と中学校では週2時間、高校では週1時間）<sup>28</sup>。

「宗教文化と道德知識」という名称からは特定宗教に偏らずに宗教や道德を教えている印象を受けるが、実際には、この授業の内容は明らかにイスラーム教徒を対象にした宗教教育である<sup>29</sup>。

## (2) イマーム・ハティップ養成校

イマーム・ハティップ養成校は、イマームやハティップといった宗教指導者を養成することを目的とした中等教育段階の公立職業学校である。

イマーム・ハティップ養成校は共和国建国直後に設立されたが、生徒数の減少を理由に1931/32年度に廃止された。しかし、公立学校における宗教教育が再開されたのと同様に、1951年にイマーム・ハティップ養成校は再開された。1975年以降、イマーム・ハティップ養成校は、制度上普通学校と同等に扱われることになり、卒業生には一般の大学資格が与えられることになった。これに伴い、イマーム・ハティップ養成校の生徒数は急増し、1974/75年度に中学校で約2.4万人、高校で約2.4万人だった生徒数は、1994/95年度には中学校で約30万人、高校で約17万人になった<sup>30</sup>。

イマーム・ハティップ養成校は、1951年から1971年までは中学校4年・高校3年、1971年から1997年までは中学校3年・高校4年の7年制だった。1997年の初等教育8年制への移行に伴い、中学校は廃止され、現在は高校のみの4年制の公立職業高校となっている<sup>31</sup>。

イマーム・ハティップ養成「中学校」のカリキュラムは、普通中学校とほぼ同じカリキュラムに加えて、職業科目としてコーラン（週5時間）とアラビア語（週3時間）を教えるというものだった。一方、イマーム・ハティップ養成「高校」のカリキュラムは表10の通りである<sup>32</sup>。

表10 イマーム・ハティップ養成高校のカリキュラム (1985年)

世俗教科／学年	1	2	3	4
トルコ語と文学	5	4	3	3
心理学	—	—	2	—
哲学・論理学・社会学	—	—	—	6
歴史	2	2	2	—
芸術史	—	—	—	1
地理学	2	2	1	—
数学	4	2	2	2
生物学	—	2	2	—
物理学	3	2	2	—
化学	3	3	—	—
外国語	3	3	3	3
体育	2	2	1	1
国防	—	1	1	1
観光	—	—	—	1
共和国史とケマリズム	—	1	1	2
健康知識	1	1	1	—
計 (世俗教科)	25	25	21	20

宗教教科／学年	1	2	3	4
コーラン	4	4	3	3
アラビア語	5	5	4	4
イスラーム神学	—	—	2	2
イスラーム法学	2	2	2	—
コーラン解釈	—	—	2	3
ハディース	—	2	2	2
預言者の生涯	2	—	—	—
宗教史	—	—	—	2
説教実践	—	—	2	2
計 (宗教教科)	13	13	17	18

カウンセリング・教育的作業	3	3	3	3
---------------	---	---	---	---

T. C. Milli Eğitim Gençlik ve Spor Bakanlığı Din Öğretimi Genel Müdürlüğü, *İmam-Hatip Liseleri Öğretim Programları*. Ankara, Milli Eğiti Basımevi, 1985, pp.28-29より作成。

前述したように、1957年以降職業中学校の規模を縮小することが決定されたにもかかわらず、職業中学校の中でイマーム・ハティップ養成中学校だけは生徒数が増加し続けた。その結果、1994/95年度には職業中学校の生徒数356,071人のうち、イマーム・ハティップ養成中学校の生徒数は301,862人を占めるまでになった。1997年以前のトルコの中学校は、普通中学校と職業中学校の大きく2つに分かれていたのは前述した通りだが、実際には、普通中学校とイマーム・ハティップ養成中学校の2つに分けられると言われかねない状況だったのである。そして、この状況は、建国以来、世俗主義の堅持を目指してきた勢力（軍部や共和人民党）にとっては決して歓迎されるものではなかった。1997/98年度の8年制初等教育への移行は、軍部主導でおこなわれたこともあり、この教育制度改革の最大の狙いはイマーム・ハティップ養成中学校の廃止にあった、と言われるほどである<sup>33</sup>。

## おわりに

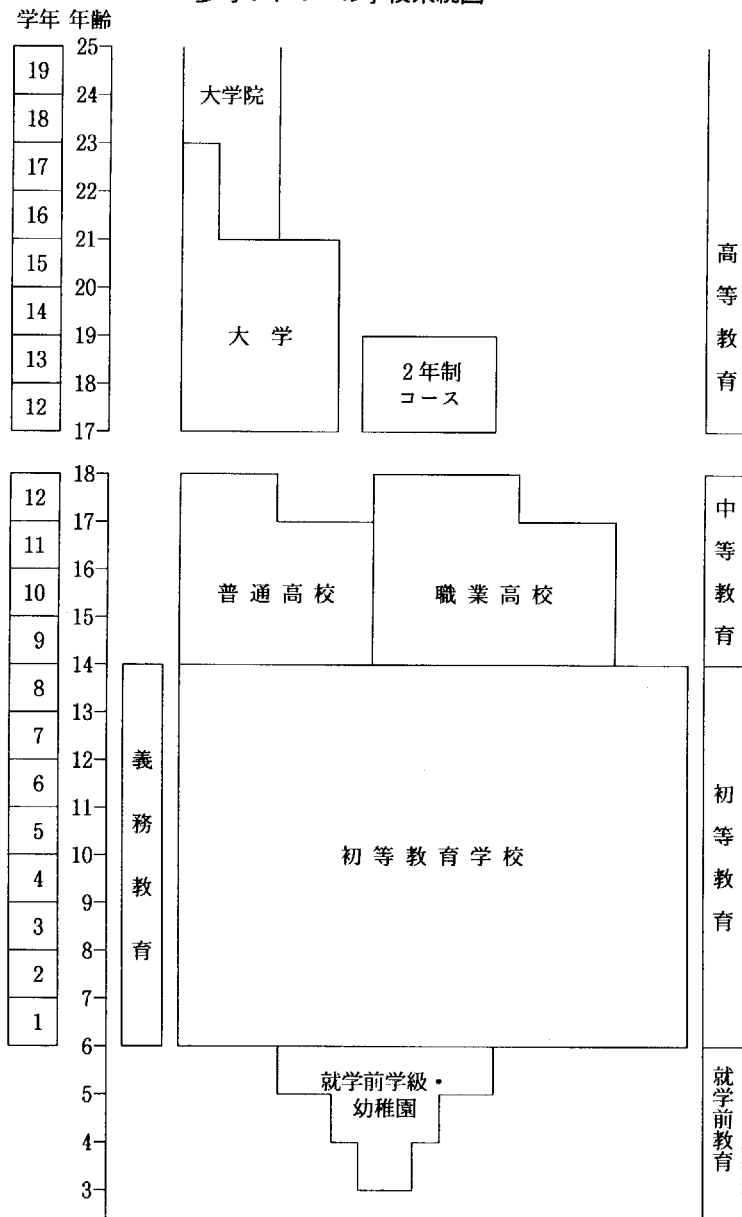
本稿では、トルコの就学前・初等・中等教育と宗教教育を扱った。はじめに述べたように、トルコの教育制度に関する研究が非常に少ない現状を考えると、基本的な歴史と現状を概観した本稿はトルコの教育についての理解を深める上で意味がある。しかし、歴史と現状を総合的に網羅しようとしたあまり、深い分析がおこなえなかったのも事実である。また、各教育段階における教員養成やカリキュラム作成などの個別の問題に関する分析は今後の課題としたい。また、今回は、高等教育については扱わなかったが、これについては近いうちに別稿で論じる予定である。

注

- 1 就学前教育については主に、Çigdem Kâitçbaşı and Sevda Bekman, "Preschool Education and Intervention in Turkey." In Güzver Yıldırım and John Durnin (eds.), *Recent Perspectives on Turkish Education: An Inside View*. Bloomington, Indiana University Turkish Studies Publications, 1997, pp.13-37を参照した。
- 2 トルコ教育省のデータ (<http://www.meb.gov.tr/stats/ist2001/Bolum5s1.htm>), 2001/09/30.
- 3 Çigdem Kagitçbaşı and Sevda Bekman, *op.cit.*, p.15.
- 4 小学校の歴史については、主に、Yahya Akyüz, *Türk Eğitim Tarihi*. İstanbul, ALFA. 1999(7. Baskı), pp.300-305; Mehmet Tarhan, *Religious Education in Turkey: A Socio-Historical Study of the Imam-Hatip Schools*. Ph.D. Thesis, Temple University, 1996などを参照した。
- 5 Michael Winter, "The Modernization of Education in Kemalist Turkey." In Jacob M. Landau, *Atatürk and the Modernization of Turkey*. Boulder, Westview Press, 1984, pp.191.
- 6 Yahya Akyüz, *op.cit.*, pp.301-302; 文部省大臣官房調査統計課『トルコの教育』文部省大臣官房調査統計課, 1978年, 23頁; OECD, *Reviews of National Policies for Education*. Paris, OECD, 1989, pp.101-103.
- 7 M. Fuat Turgut, "Secondary Education in Turkey." In Güzver Yıldırım and John Durnin (eds.), *op.cit.*, p.39.
- 8 ①から④までは、Yahya Akyüz, *op.cit.*, p.322, ⑤は、M. Fuat Turgut, *op.cit.*, p.39を参照。
- 9 State Institute of Statistics Prime Ministry Republic of Turkey, *Statistical Year-book of Turkey*. Ankara, State Institute of Statistics, 1996, pp.177-178.
- 10 Yahya Akyüz, *op.cit.*, pp.324.
- 11 トルコ教育省のデータ (<http://www.meb.gov.tr/stats/ist2001/Bolum5s1.htm>), 2001/09/30.
- 12 State Institute of Statistics Prime Ministry Republic of Turkey, *op.cit.*, p.175.
- 13 文部科学省のデータ ([http://www.mext.go.jp/b\\_menu/toukei/index.htm](http://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/index.htm)), 2001/10/9より算出。
- 14 State Institute of Statistics Prime Ministry Republic of Turkey, *op.cit.*, pp.177-178.
- 15 国民統合におけるトルコ語の重要性については、新井政美『トルコ近現代史』みすず書房, 2001年, 215～218頁; 松谷浩尚『現代トルコの政治と外交』勁草書房, 1987年, 24～27頁などを参照。
- 16 従来のカリキュラムでは、外国語はドイツ語・英語・フランス語から選択することになっている。M. Fuat Turgut, *op.cit.*, p.44を参照。
- 17 トルコの教育がアタテュルクの理念に基づいておこなわれる旨は、憲法でも明記されている。この点については、松谷浩尚「トルコ共和国憲法」『外務省調査月報』1号, 1991年, 53頁; Bill Williamson, *Education and Social Change in Egypt and Turkey: A Study in Historical Sociology*. Basingstoke, Macmillan Press, 1987, p.145などを参照。
- 18 トルコ教育省のデータ (<http://www.meb.gov.tr/stats/ist2001/Bolum5s1.htm>), 2001/09/30.
- 19 日本の高校では全学校数に占める私立の割合は約24%である。  
文部科学省のデータ ([http://www.mext.go.jp/b\\_menu/toukei/index.htm](http://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/index.htm)), 2001/10/9より算出。
- 20 M. Fuat Turgut, *op.cit.*, pp.40-41; Yahya Akyüz, *op.cit.*, p.309.
- 21 M. Fuat Turgut, *op.cit.*, p.41.
- 22 *Ibid.*, p.40.
- 23 *Ibid.*, p.46.

- 24 *Ibid.*, p.46; 長島啓記「トルコ」文部省編『諸外国の学校教育（アジア・オセアニア・アフリカ編）』大蔵省印刷局, 1996年, 151頁。
- 25 M. Fuat Turgut, *op.cit.*, p.56-57.
- 26 Yahya Akyuz, *op.cit.*, pp.302-303, p.306.
- 27 トルコの公立学校における宗教教育の廃止要因と再開要因については、宮崎元裕「トルコの宗教教育－単一宗教内の見解の相違－」『公教育の宗教的寛容性および共通シラバスに関する国際比較研究』（平成11年度科学研究費補助金基盤研究C-1）2001年, 161-173頁で扱ったため、ここでは詳しくふれない。
- 28 宗教教育の歴史の変遷については主に以下の文献を参照。Mehmet Tarhan, *op.cit.*; Yahya Akyüz, *op.cit.*, pp.302-303, p.306, pp.323-324; Beyza Bilgin, "The Understanding of Religious Education in a Country where there is Separation of Religion and State: The Example of Turkey." *British Journal of Religious Education*. Vol.15, No.2, p.39; Sabahaddin Zaim, "Evaluation and Implementation of Islamic Education in the Context of Modern Systems in Turkey." *Muslim Education Quarterly*. Vol.4, No.4, 1987, pp.16-28; Sabahaddin Zaim and Nahid Dincer, "Modern Education in Turkey." *Muslim Education Quarterly*. Vol.2, No.3, 1985, pp.27-64; Salih Tuğ, "Muslim Education in the Past and Its Present Heritage in Turkey." *Muslim Education Quarterly*. Vol.2, No.3, 1985, pp.65-76
- 29 小学校4年から中学校3年までのこの授業の教科書を参照のこと（例えば, Talip Arıřahin and Mehmet Doğru, *Din Kültürü ve Ahlak Bilgisi 4. İstanbul*, Damla Yayınevi, 1998など）。
- 30 Mehmet Tarhan, *op.cit.* pp.235-236.
- 31 注28で挙げた文献を参照。
- 32 1999年の最新のカリキュラムもあるが、表9の普通高校のカリキュラムと合わせて、同時期のカリキュラムを掲載した。1999年のカリキュラムについては, T.C. Milli Eğitim Bakanlığı Din Öğretimi Genel Müdürlüğü, *İmam-Hatip Lisesi, Anadolu İmam-Hatip Lisesi, Yabancı Dil Ağırlıklı İmam-Hatip Lisesi, Meslek Dersleri Öğretim Programları*. Milli Eğitim Basgmevi, 1999を参照のこと。
- 33 村上薫「トルコの教育制度改革－イスラム勢力に対する危機感－」『アジア研ワールド・トレンド』第29号, 1997年; 朝日新聞, 1997年5月2日。

参考：トルコの学校系統図



(博士後期課程2回生，比較教育政策学講座)